



# 友愛の丘通信

UAゼンセン中央教育センター  
友愛の丘通信 2022 新年号(臨時)  
(2022年1月1日発行)  
発行責任者:近藤 三千代  
編集人:内藤 高明

## 新年のご挨拶



近藤センター長

明けましておめでとうございます。昨年10月から本部研修も再開し、コロナ過にも関わらず、友愛の丘をご利用頂きありがとうございました。今年は柔らかな日差しの中、職員一同で友愛神社に参拝し、穏やかな仕事始めとなりました。ただ急速に広がりつつあるオミクロン株の影響がどこまで来るのか、心配なところではあります。

この度研修が再開され、「労働組合」にとって、顔を合わせ集うことが何よりも重要なことを改めて実感しました。研修生の皆さんも、以前通りといかないまでも、久しぶりの集合研修を満喫されている様子でした。

12月よりリモートでの講座も開設しましたが、コロナウイルスという突然現れた災難に立ち向かうことで、「友愛の丘」の存在意義を強く感じた一年でした。コロナウイルス収束はまだ先かもしれませんが、先人達が紡いできた労働運動の歴史を途絶えさせることのないよう、そのうえで新しい労働運動を模索しながら、友愛の丘も進化しなければならないと考えております。リモートのできる研修もありますが、友愛の丘に登り、自らの内面を振り返る時間を持ち、仲間との絆の大切さを再認識して頂きたいと思います。皆が笑顔で集い、思う存分語り合える日が来ることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



友愛神社へ初詣



友愛の丘全員でお待ちしています

### 感染対策ステッカー

この度観光庁事業「宿泊施設に対する感染対策現地調査」の感染対策済ステッカーを取得しました。これは実施されている感染防止対策がガイドラインの基準を満たしていることを示すものです。友愛の丘はコロナウイルスに対し万全の対策で研修の皆さんをお迎えします。



ダイエーユニオンから洗面所の自動水栓と食堂入り口の自動ドアを寄贈していただきました。ありがとうございました。利用される皆さんに快適に使っていただけます

**編集後記** 昨年末からコロナウイルスは新たなオミクロン株が広がる気配濃厚です。まだまだ気を許すことなく感染対策を万全にし、この難局を乗り切っていきましょう。(六鹿郎)